

富浦協働つうしん

VOL.176

稲刈りイベントレポート

富浦子ども園裏の奨太さんの圃場に5月18日に皆で植えた苗が立派なお米になりました。当初予定では9月7日に稲刈り見学会を実施予定でしたが、直前の台風15号による大雨で7日はコンバインをいれることができません、子ども園の教室をお借りしてお米の勉強会を行いました。そして中2日空けて10日の猛暑の中、園主奨太さんご夫妻の稲刈りの様子を取材しました。奥さんが田んぼの端の部分の手当をし、奨太さんがコンバインを巧みに走らせ、丁寧に大胆に稲刈りが行われました。スーパーで売っているお米しか知らない取材班には農家さんの有難さを感じさせていたくーコマでした。奨太米…大切に美味しくいただきます。



奨太さん親子



粒すけ〜

農業事務所浦西さん
のご指導で一粒の粒
からできるお米を皆
で数え、紙芝居で学
びました。

浦西さん



ありがとうございます
ございました。



奨太さんから
新米
いただきました



おしゃべりによる憩いの場

富浦駅前「ステーションそら」へいらっしゃいませんか？

あいている時間：土日祝 9:00～12:00

富浦駅前の旧観光案内所を利用して地元の皆さんが集いの場として開放している施設が「ステーションそら」です。週末の午前中を中心に施設を開放しています。是非お気軽にお立ち寄りいただき、楽しいおしゃべりでひと時を過ごしませんか。第2日曜日は全員集合の日です。より楽しく・賑やかに皆さんをお迎えします。電車の待ち時間にも是非お立ち寄りください。



9月14日に集まった皆さん

富浦駅の目の前です



避難所体験レポート

＜富浦地域づくり協議会さざなみ＞

9月13日（土）とみうら元気倶楽部にて避難所体験イベントが実施されました。午前中は、市消防防災課より市の取り組みや備蓄品紹介、能登半島地震の支援活動参加についての講話があり、午後は千葉工大の学生による『日常と非日常を分けない、いつもの生活がそのまま備えになるフェーズフリーとは』や、ゲーム方式で避難所における様々な問題について考えるワークショップ、自分が使いたいフェーズフリーアイテムの起案・創作など行われました。また、南房総市防災備蓄品から災害時用ベッドや間仕切りテント、個室トイレなどを参加者と千葉工大学生が設営しました。組み立てたベッドに寝たり、トイレの使用方法について話を聞くなど、実際に体験することでより防災が身近に感じるイベントとなりました。



昼食には防災食を
食べました！



参加者から寄せられた声

- 千葉工大の学生さんが積極的に動いてくれとても頼りになった。
- 簡易ベッドやテントの組み立ては3～4人で協力し合う必要があり、如何に平素から隣近所の、付き合いが大切か痛感した。
- 避難所には若い人が来てくれるとは限らずお互いに助け合う気持ちが大切と感じた。
- 学生さんの、クイズ形式や、カルタ形式の教え方は取り組みやすかった。
- これからもこのような体験あれば、友達を誘い参加したい。
- 水で戻したアルファ化米は正直食べにくかった。食べなれているものをストックすることの大切さを感じた。
- 避難所での生活は大変そうで、できるだけ自宅で避難できるような準備をするべきと感じた。

今後の富浦地域づくり協議会「さざなみ」の活動予定

10月22日（水）13:30～15:00	ロコモ体操教室@とみうら元気倶楽部
10月26日（日）10:00～12:00	びわっこガーデン遊び場開放@富浦中央児童遊園
11月2日（日）10:00～12:00	びわっこガーデン遊び場開放@富浦中央児童遊園
11月12日（水）13:30～15:00	ロコモ体操教室@とみうら元気倶楽部
11月15日（土）10:00～12:00	焼き芋大会@富浦中央児童遊園

企画・編集：富浦地域づくり協議会「さざなみ」地域づくり支援員

tomiura.sazanami@gmail.com

☎ 0470(33)3412

びわっこたちの 焼き芋大会

雨天の場合は11/22(土)に延期



お申込み

日時：11月15日(土曜日) 10:00~12:00

場所：富浦中央児童遊園(富浦町青木69)

定員：100人

参加費：おひとり様200円 焼き芋1本つき。焼きマシュマロもあるよ。
(大人と3歳以上のお子さん。2歳以下無料)

ぷかぷか金魚すくい

とってもかわいい手作り金魚、何匹すくえるかな?

いも掘り競争

紙で作ったおイモの引き抜き競争だよ!



ボールプール

カラーボールの入ったプールで遊ぼう!

ワクワク魚釣り

上手に釣れるかな?カラフルなトレイのおさかなさん!

新会員募集中 見学大歓迎

富浦俳句会

経験・年齢・性別不問

季節を表す言葉である「季語」を使い、五・七・五の十七音で構成するという単純なルールの中で自分を表現する俳句。ここ富浦では富浦俳句会が15年近くにわたり活動が続けています。取材した9月18日の参加者は女性12名・男性4名。毎月第3木曜日の午後にとみうら元気倶楽部にて月例の句会が開催されます。会の冒頭に先月の句会で出された「兼題(季語の宿題)」で作った三句を提出。提出された句全てを作者無記名で一覧表にします。その句稿から各自が気に入った句に投票し、その後それぞれの句について講師の小形博子さんと金光浩彰さんを中心に、全メンバーで自由に批評し合います。講師の小形さんが俳句の道に入ったきっかけは著名な俳人鈴木真砂女さんの句集に出会ったことがきっかけ。小形さんは俳句を通じて「本当の自分が見える」「歳を重ねることに楽しみを見つける」と心に響く言葉も。参加者の皆さんも真剣勝負で五七五に向き合っていました。現在富浦俳句会では新会員を募集しています。小形さん曰く俳句というハードルが高そうで躊躇されるかもしれませんが、最初は皆同じ。ペンを持って半歩踏み出してみれば新しい世界が広がるかもしれません。とのこと。富浦俳句会にご興味を持たれた方はまずはお気軽にお問い合わせを。次回は10月16日(木)13時~とみうら元気倶楽部にて。見学大歓迎です!お問い合わせはとみうら元気倶楽部(☎0470-33-3412)まで。俳句会にお繋ぎします。



いちじくに恋した女性が営むカフェのご紹介

今回は丹生でよぜむファームカフェを営む山木こずえさんをご紹介します。よぜむ…クリスチャン?そりゃヨゼフだろ!よぜむは山木家の屋号でした。こずえさんは地元の枇杷農家に生まれ、東京で都市計画コンサルの会社に就職し地方活性化という仕事に触れていく中で地元の活性化を意識。最終的に丹生に戻り枇杷生産に従事。その後生業の幅を広げることを考える中でお母さんが好きないちじくに興味を抱き、気が付くといちじくに恋する自分を発見。2023年10月からはいちじくを主としたカフェを営業されており本欄でのご紹介に至りました。いちじくはネットで検索しても実の多くの品種があり、おなじみのドーフィンだけでなくロングドゥート、ビオレソリエス、蓬萊柿(ほうらいし)とこずえさんも様々な品種を育てています。殊に一番のお気に入りにはビオレソリエス。フランス原産の幻の黒いちじくと言われる品種で、沼にはまるほど美味しいと熱が入ります。枇杷は作業が集中することに対し、いちじくは複数品種を扱うことで時期をずらしながらの栽培が可能のため、枇杷の時期はカフェも休みになりますが、いちじくの時期は栽培と並行して営業を行っています。営業は土日のみ13:00~17:00まで。こだわりのDIYで作上げた店舗は清潔感にあふれとても素敵です。冬は剪定枝を使った薪ストーブも体験できるかも。よぜむファームさんの枇杷やいちじくにご興味がある方は、「リザーブストック 山木こずえ」と入力するとこずえさんのページに飛ぶことができ、そこからメルマガの登録もできます。メルマガは不定期ながら思いに溢れており、引き込まれます。こずえ沼にはまりたい方は是非メルマガ登録からどうぞ。所在地：富浦町丹生370 Instagram: yozemu_farm_cafeに素敵な写真が一杯です。ご予約はリザーブストックのお問合せフォームからどうぞ。

いちじく愛に溢れたメニュー



ナチュラルテイストの店内



12月のイベントに関しまして

師走12月は毎年の納めとしてさざなみも年末に相応しいイベントを開催してきました。今年は今のところ14日に開催する絵本読み聞かせの会と合わせて、「びわっこたちのクリスマスパーティー」と題しまして、とみうら元気倶楽部にて、クリスマス飾りを手作りするイベントを開催する予定としております。次に、毎年恒例となっていましたクリスマスコンサートは、出演者の調整がつかず、残念ですが今年は中止といたします。最後に年度はじめのイベント計画でお示ししておりましたお餅つき大会も複数のチームを編成する人数を集めることができず、中止せざるを得ない状況となりました。以前は少年野球チームとの共同開催等行ってきましたが、子ども団体の活動縮小で共催する団体を見つけることにたいへん苦慮しております。お餅つきは、年配の方の経験とパパ・ママ層の協働作業として年末の地域イベントとして是非実行したいと考えてまいりましたが、事務局としても誠に残念です。来年こそ実現できるよう、皆さまのお力添えをお願いいたします。